



6

りよくどう
いずみ緑道

群馬県大泉町下小泉坂田、吉田、仙石

大泉町は、群馬県の東南、東毛平坦地域のほぼ中央に位置する街である。この地方は、大和朝廷の進出によって氏族社会が栄え、本町でもそれを物語る数多くの古墳が発見されている。〔文化・観光〕小泉城址、いずみ緑道、社日大祭、大泉まつり(7月)

大泉町のいずみ緑道は、東武鉄道の廃線敷を利用して整備された本町のシンボルゾーンである。

この緑道は「出会い、花、水の広場」「緑と彫刻の道」など四つのゾーンに分かれ、約一〇〇種類三万本の樹木を配し、著名な彫刻家の作品、噴水や小川のせせらぎを楽しめるようつくられている。小川を流れる水は、隣接する衛生センターから完全滅菌された処理水を再利用したもので、歩道と自転車道をぬって流れている。

緑道は、毎年七月に行われる大泉まつりをはじめとして、さまざまなイベントの会場としても活用されている。また、年間をとおして子供会、老人会、労働組合など各種団体が自主的に清掃活動を行い、多くの人々に愛され親しまれている。

